

新型コロナウイルス感染防止対策に係る

熊本県バレーボール協会が主催及び主管する大会運営ガイドライン

令和4年5月策定

熊本県バレーボール協会

本協会は、感染拡大防止のために参加者に協力を求める遵守すべき事項を可能な限り明確にします。

なお、参加者や観戦者をはじめ、大会会場の施設管理者、主催及び主管に係る役員を含めすべての方々の安全を確保することを最優先します。何よりも、クラスターを発生させないための視点から、協力を求める遵守すべき事項を遵守できない参加者、チーム関係者（観戦者含）及び役員には、大会等への参加を遠慮していただく協力依頼をしたり、途中退場の協力依頼をしたりすることがあります。

また、参加者や関係者に求める感染防止拡大防止のための主な措置は、(3)のとおりですが、そのときの状況により、(3)に示していない措置をとることがあります。

おって、今後、オミクロン株から変化したり、感染リスク状況が高まったりする場合は、本措置を中止または変更することがありますので申し添えます。

(1) 大会初日を起算日として3日前まで及び大会期間中に、以下の症状がある場合は、大会主催者及び主管者へ事前の連絡をお願いします。

また、当該チームから対戦チームに対し事前に連絡をお願いします。

- ・ 陽性者
- ・ 濃厚接触者
- ・ 接触者
- ・ 体調がよくない者（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいる場合
- ・ 直近14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある者

(2) 大会参加にあたっては以下の事項を遵守するよう協力をお願いします。

なお、本協会で定めた規定外については、開催地自治体及び(財)日本バレーボール協会が定める大会運営ガイドライン（新型コロナウイルス感染防止対策：2022年4月22日版）等に従って大会を運営します。

- ① マスクを持参し、受付や着替え等の競技を行っていないとき、移動するとき、ベンチにいるとき、また会話をする際には、マスクを着用してください。
- ② 入館・退館時、食事の前後、トイレの後等、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行ってください。
- ③ 障がい者の誘導や介助を行う場合を除き、他の参加者、主催者・主管者スタッフとの距離を確保してください（可能な限り2m以上）。

- ④ 感染拡大防止策のために、主催者及び管理者が決めたその他の措置を遵守し、主催者及び管理者の指示に従ってください。
- ⑤ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者及び管理者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告してください。

(3) 上記(1)の症状がある場合の対応概略は以下のとおりとしますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、この対応概略は、日常的にチームに参加して練習等の活動を行っている場合に適応するものであり、大会初日を起算日として3日前までにチームに参加しての活動履歴がない場合は、この限りではありませんので、直接、主催者及び管理者に問い合わせをお願いします。

また、中学校及び高校で、濃厚接触者や陽性者が出た場合、当該校の所属長に報告のうえ、本対応概略を説明し、所属長の判断に従ってください。

おって、出場辞退等の判断をされる場合、チーム内で該当者を特定するような言動や、該当者に対する差別的言動や誹謗・中傷がないよう、配慮した対応をしていただくようお願いします。

症状	期間	対象	対応
体調がよくない者	大会3日前	本人	簡易検査の協力を依頼
		チーム	健康観察のうえ出場可
	大会期間中	本人	不参加の協力を依頼
		チーム	健康観察のうえ出場可
接触者	大会3日前	本人	健康観察のうえ出場可
		チーム	健康観察のうえ出場可
	大会期間中	本人	当該校長の判断に従う
		チーム	健康観察のうえ出場可
濃厚接触者	大会3日前	本人	保健所の指示に従う、「参加の自粛」を要請する
		チーム	保健所の指示に従う、「参加の自粛」を要請する
	大会期間中	本人	不参加の協力を依頼
		チーム	「参加の自粛」を要請し、出場辞退の協力を依頼
		対戦チーム	出場可
陽性者	大会3日前	本人	保健所の指示に従う、「参加の自粛」を要請する
		チーム	保健所の指示に従う、「参加の自粛」を要請する
	大会期間中	本人	不参加の協力を依頼
		チーム	不参加の協力を依頼
		対戦チーム	保健所の指示に従う、「参加の自粛」を要請する
同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいる場合は、濃厚接触者と同様の対応となる			
直近14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある者は、濃厚接触者と同様の対応となる			

※本人とは選手、チームスタッフ、役員それぞれに適応します。